

# 社会保障改革の動向について

社会保障審議会（平成23年2月10日）配付資料（抜粋）

# 社会保障制度を取り巻く状況の変化について

- 現在の社会保障制度を取り巻く状況は1960～70年代当時から大きく変化している。
  - ① 雇用基盤の変化(就労形態の多様化)
  - ② 家族形態の変化(単身高齢世帯の増加、離婚の増加に伴うひとり親世帯の増加)
  - ③ 地域基盤の変化(都市化と過疎化の同時進行、地域コミュニティの弱体化、人口減少社会到来)
  - ④ 生活・リスク形態の変化(社会的ストレスの増大、自殺、うつ等の増加)



+

少子高齢化の進展と経済成長の鈍化により、  
社会保障給付費の対GDP比が増加

社会情勢の変化に対応し、これまで、年金、医療、福祉など制度ごとに対応を実施してきたが、

- 世代間の給付・負担のアンバランス、ニーズの変化に対応したサービスの充実・強化、縦割り型制度、不十分な貧困・困窮者対策、負担の次世代への先送りといった問題は未解決
- 問題解決には、財源問題も含めた社会保障制度の一体的・抜本的な改革が必要



## 改革の全体像を議論するためのポイント

- 経済を支え、経済成長に貢献する社会保障(一人一人の能力を引き出す社会保障＝ポジティブ・ウェルフェア)の構築
- 新たな課題やニーズの変化、各制度が内包している課題に対応した社会保障の機能強化  
他方、必要な効率化を併せて実施
- 安定的な財源の確保

※これらを一体的、総合的に議論する必要

# 社会保障改革に係る検討体制

## 政府・与党社会保障改革検討本部

本部長：菅内閣総理大臣

本部長代理：枝野内閣官房長官

与謝野社会保障・税一体改革担当大臣

(政府側構成員)

片山総務大臣、野田財務大臣、細川厚生労働大臣、海江田経済産業大臣、  
与謝野内閣府特命担当大臣(経済財政政策、少子化対策)、玄葉国家戦略担当大臣、  
藤井内閣官房副長官、福山内閣官房副長官、細野内閣総理大臣補佐官、峰崎内閣官房参与

(与党側構成員)

仙谷民主党代表代行、岡田民主党幹事長、玄葉民主党政務調査会長、  
小沢民主党社会保障と税の抜本改革調査会会長代理、  
平田民主党参議院幹事長、藤村民主党政務調査会幹事長代理、長妻民主党筆頭副幹事長、  
城島民主党政務調査会会長代理、一川民主党政務調査会会長代理、  
下地国民新党幹事長、亀井国民新党政務調査会会長、田中新党日本代表

## 社会保障改革に関する有識者検討会

宮本太郎 北海道大学大学院法学研究科教授(座長)  
駒村康平 慶應義塾大学経済学部教授(副座長)  
井伊雅子 一橋大学国際・公共政策大学院教授  
土居丈朗 慶應義塾大学経済学部教授  
大沢真理 東京大学社会科学研究所教授

## 社会保障・税に関わる番号制度に関する実務検討会

与謝野社会保障・税一体改革担当大臣  
藤井官房副長官、平野内閣府副大臣、末松内閣府副大臣  
鈴木総務副大臣、小川法務副大臣、五十嵐財務副大臣、  
大塚厚生労働副大臣、池田経済産業副大臣、  
和田内閣府大臣政務官、細野内閣総理大臣補佐官、  
峰崎内閣官房参与  
(オブザーバー)  
古本民主党税制改正PT事務局長  
大串民主党社会保障と税の抜本改革調査会事務局長  
亀井国民新党政務調査会会長

# 社会保障改革に係る最近の検討経過

時 期	概 要
平成22年 10月28日	第1回 政府・与党社会保障改革検討本部 ・今後の進め方
11月 9日 ～ 12月 8日	社会保障改革に関する有識者検討会 (第1回) ・社会保障の現状と課題 (第2回) ・社会保障改革に関するこれまでの主な議論 ・社会保障の財源と財政運営戦略 (第3回) ・社会保障を支える税制 ・相対的貧困と財政、雇用 (第4回) ・社会保障改革の具体的内容に関するこれまでの議論 (第5回) ・報告書とりまとめ
12月10日	第2回 政府・与党社会保障改革検討本部 ・民主党「税と社会保障の抜本改革調査会中間整理」の報告 ・「社会保障改革に関する有識者検討会報告」の報告 ・本部決定
12月14日	閣議決定
平成23年 1月21日	第3回 政府・与党社会保障改革検討本部 ・「社会保障改革に関する集中検討会議」の設置について
1月31日	第4回 政府・与党社会保障改革検討本部 ・社会保障・税に関わる番号制度についての基本方針決定 ・「社会保障改革に関する集中検討会議」の人選について
2月5日	第1回 社会保障改革に関する集中検討会議 ・今後の進め方

# 社会保障改革の推進について（平成22年12月14日閣議決定）

社会保障改革については、以下に掲げる基本方針に沿って行うものとする。

## 1. 社会保障改革に係る基本方針

- 少子高齢化が進む中、国民の安心を実現するためには、「社会保障の機能強化」とそれを支える「財政の健全化」を同時に達成することが不可欠であり、それが国民生活の安定や雇用・消費の拡大を通じて、経済成長につながっていく。
- このための改革の基本的方向については、民主党「税と社会保障の抜本改革調査会中間整理」や、「社会保障改革に関する有識者検討会報告～安心と活力への社会保障ビジョン～」において示されている。
- 政府・与党においては、それらの内容を尊重し、社会保障の安定・強化のための具体的な制度改革案とその必要財源を明らかにするとともに、必要財源の安定的確保と財政健全化を同時に達成するための税制改革について一体的に検討を進め、その実現に向けた工程表とあわせ、23年半ばまでに成案を得、国民的な合意を得た上でその実現を図る。  
また、優先的に取り組むべき子ども子育て対策・若者支援対策として、子ども手当法案、子ども・子育て新システム法案(仮称)及び求職者支援法案(仮称)の早期提出に向け、検討を急ぐ。
- 上記改革の実現のためには、立場を超えた幅広い議論の上に立った国民の理解と協力が必要であり、そのための場として、超党派による常設の会議を設置することも含め、素直に、かつ胸襟を開いて野党各党に社会保障改革のための協議を提案し、参加を呼び掛ける。

## 2. 社会保障・税に関わる番号制度について

- 社会保障・税に関わる番号制度については、幅広く国民運動を展開し、国民にとって利便性の高い社会が実現できるように、国民の理解を得ながら推進することが重要である。
- このための基本的方向については、社会保障・税に関わる番号制度に関する実務検討会「中間整理」において示されており、今後、来年1月を目途に基本方針をとりまとめ、さらに国民的な議論を経て、来秋以降、可能な限り早期に関連法案を国会に提出できるよう取り組むものとする。

# 厚生労働省社会保障検討本部

## 本 部

## 事務局

### 政務三役会議

大臣  
(本部長)

大塚副大臣  
(医療・介護、年金、番号担当)

小宮山副大臣  
(子ども・子育て支援、就労促進担当)

岡本政務官  
(医療・介護、貧困・格差担当)

小林政務官  
(就労促進担当)

事務次官  
(副本部長)

厚生労働審議官  
(副本部長)

統括官(社会保障)  
(事務局長)

医政局長  
健康局長  
医薬局長  
基準局長  
安定局長  
能開局長  
雇児局長  
社援局長  
老健局長  
保険局長  
年金局長  
統括官(労働)

医療・介護チーム  
└ 医療イノベーション  
サブチーム

年金チーム

就労促進チーム

貧困・格差チーム

└ 低所得者対策  
(自己負担等軽減)  
総合検討サブ  
チーム

子ども・子育て  
支援チーム

番号チーム

## 検討事項（医療・介護チーム、医療イノベーションサブチーム）

- 診療報酬・介護報酬同時改定の基本となる方針を策定する。
- 上記の基本となる方針の策定に当たって、それと統合的な医療及び介護の提供体制の見直し等の改革案を作成する。その際、以下の課題について、改革の内容、手法等を具体化する。

### <政策課題>

- ・ 医療・介護施設の機能分化の推進及び地域における連携体制の構築
    - …病院・病床機能、介護施設機能、医療・介護計画、療養病床の再編の検討を含む。
  - ・ 急性期医療の強化、重点化及び急性期から慢性期への円滑な移行
  - ・ 在宅医療・介護の充実、プライマリケアの明確化
    - …地域包括ケアの具体像の提示を含む。
  - ・ 在宅を支える高齢者向け住宅保障
  - ・ マンパワーの充実確保 等
- 予防医療、介護予防の具体化
    - ・ 介護予防に関するエビデンスやノウハウの集積、普及 等
  - 医療・介護の効率化方策の具体化
    - ・ IT化の推進 等
  - 上記改革を踏まえた、医療・介護の費用推計
    - ・ 社会保障国民会議試算を推計の基礎とし、改革内容に応じた修正を適切に行う。
    - ・ 必要な給付費から算定されるニーズと実態のギャップに基づき、必要な基盤整備などの投資的経費の試算を行う。

### <サブチームでの検討事項>

- 新成長戦略に基づく医療イノベーションの具体化
  - ・ 日本発の医薬品・医療機器、医療技術の研究開発推進
  - ・ 内閣官房における検討と連携して取り組む。

※ 上記検討に当たっては、医療・介護分野における雇用拡大等、経済成長とのよい循環を生んでいく観点を踏まえた内容とすること。

# 社会保障改革に関する集中検討会議

## 1. 趣旨

社会保障・税一体改革の検討を集中的に行うとともに、国民的な議論をオープンに進めていくため、内閣総理大臣を議長とし、少数の関係閣僚及び与党幹部と民間有識者からなる会議を政府・与党社会保障改革検討本部の下に設置する。

## 2. 役割

- 社会保障・税一体改革に関する重要提案のヒアリング、論点の明確化
- 政府における一体改革検討に関する助言
- 国民的な議論を進めるための環境作り

## 3. 構成

### 【幹事委員】

#### (1) 政府

内閣総理大臣（議長）  
社会保障・税一体改革担当大臣（議長補佐）  
内閣官房長官、内閣官房副長官  
総務大臣、財務大臣、厚生労働大臣、国家戦略担当大臣

#### (2) 与党

仙谷由人 民主党社会保障と税の抜本改革調査会長  
亀井亜紀子 国民新党政務調査会長

#### (3) 各界有識者

##### 【経済界】

成田豊 電通名誉相談役（安心社会実現会議座長）  
渡辺捷昭 トヨタ自動車株式会社代表取締役副会長

##### 【労働界】

古賀伸明 日本労働組合総連合会会長

##### 【学界】

清家篤 慶應義塾長  
宮本太郎 北海道大学大学院法学研究科教授  
吉川洋 東京大学大学院経済学研究科教授  
（社会保障国民会議座長）

##### 【有識者】

堀田力 さわやか福祉財団理事長  
峰崎直樹 内閣官房参与  
宮島香澄 日本テレビ解説委員  
柳澤伯夫 城西国際大学学長

### 【委員】

赤石 千衣子 特定非営利活動法人しんぐるまざあず・ふぉーらむ理事  
安藤 哲也 特定非営利活動法人ファザーリング・ジャパン代表理事  
岡村 正 日本商工会議所会頭  
小川 泰子 社会福祉法人いきいき福祉会専務理事  
亀田 信介 医療法人鉄蕉会亀田総合病院院長  
駒崎 弘樹 特定非営利活動法人フローレンス代表理事  
笹森 清 内閣特別顧問  
生水 裕美 野洲市市民部市民生活相談室主査  
鈴木 晶子 特定非営利活動法人ユースポート横濱理事

丹生 裕子 県立柏原病院の小児科を守る会代表  
中橋 恵美子 特定非営利活動法人わははネット理事長  
濱田 邦美 徳島県那賀町日野谷診療所長  
藤本 晴枝 特定非営利活動法人地域医療を育てる会理事長  
細野 真宏 株式会社アーク・プロモーション代表取締役社長  
前田 正子 甲南大学教授  
宮本 みち子 放送大学教授  
矢崎 義雄 独立行政法人国立病院機構理事長  
湯浅 誠 内閣府参与 反貧困ネットワーク事務局長